

児童生徒実践型



千葉県立千葉中学校  
富谷利光

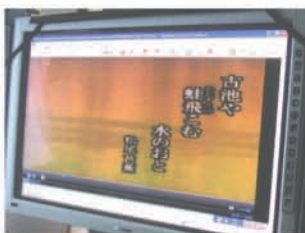
**実践テーマ** 俳句表現の工夫に、デジタルカメラで撮影した画像を役立てる。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 俳句についての意識を高めるために、デジタル教材を視聴する。また、実物投影機で写真入りの季語事典を見せ、写真と俳句を合わせると表現効果が高まることを感じ取らせる。(興味・関心を高める)
- 〈展開〉 4人グループにデジタルカメラを1台ずつ渡し、校舎周辺で秋らしい風景を撮影させる。教室に戻った後、写真をもとに俳句を作る。(俳句を作る)
- 〈まとめ〉 PC上で写真と俳句を合成し、写真俳句作品を作って発表する。(発表する)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教材を視聴する (Web)。</li> <li>写真入りの季語事典を実物投影機で見て、写真と俳句を合わせた表現効果を感じ取る (静止画①)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Web NHKデジタル教材「10min.ボックス」(国語/古文・漢文)</li> <li>「秋の季語事典」(国土社)</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>4人グループで、校舎周辺で秋らしい風景を撮影する。</li> <li>教室に戻り、写真を2枚選んでプリントし、写真を見ながら各自で俳句を作る。その後、グループで1作品を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒がデジタルカメラで撮影した写真</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーションソフトウェアを使用し、写真の上に俳句を入力して写真俳句作品を作る (静止画②)。</li> <li>全員の前で発表をする (静止画③)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒入力作品 使用ソフトウェア： PowerPoint® (Microsoft Corporation)</li> </ul>



デジタル教材を視聴し、意欲を高める



デジタルカメラで撮影した写真に俳句を入力



自作の写真俳句作品を全員の前で発表

生徒の反応・効果

- グループで俳句を作り合うことで、「座の文学」である俳句本来の楽しさを体感することができ、また、表現を磨き合うことができた。
- デジタル教材を視聴することで、正岡子規ら主要俳人への理解が深まり、作句意欲が高まった。
- 写真と俳句を組み合わせた作品の表現効果を感じとることで、作品づくりのイメージが強くなった。
- プレゼンテーションソフトウェアを使用して作品を作ることで、表現意欲が高まるとともに、全員で作品を鑑賞することができた。

活用のポイント

- デジタルカメラを使うことでイメージの共有ができる。
- 本時は2時間連続で行ったが、もう一時間充てられると余裕をもって活動できる。